

第35回昭和シェル社友会全国大会に参加して

開催日：2023年6月27日（火）

13時～16時30分 全国大会

18時～20時 全国大会懇親会

場 所：昭和シェル社友会のある帝劇ビル



帝劇ビル8階から見えるお濠の風景

会員98名、来賓4名の参加を得て昭和シェル社友会全国大会が3年ぶりに盛大に開催されました。

東北支部からは、残念ながら小生1名だけの参加となり多くの支部からは、お一人だけですか？と同情のような声掛けを多数いただきました。懐かしい顔ぶれが多数参加されており昔の思い出話に花を咲かせました。

始めに佐藤仁会長より3年間で348名の会員計報報告があり、黙祷を捧げ「元気でなければ参加することが出来ない」との激励をいただきました。社友会は会社の支援のもとで運営できており、また社友会は会社の応援団であること、そのことが

年金に繋がっていることを訴えられました。

前日の拡大全国支部長会議でも年金の説明があり、竹中前会長と佐藤現会長が出光興産との度重なる会話を通じて信頼関係を構築し、年金、社友会補助金、社友会事務所等に理解をいただく緻密な努力を継続された結果と敬服した次第です。

また事務局を含めた関係者の方々の全国大会開催に対するご苦勞を思い、心より御礼を申し上げます。大会両日への諸準備、如何ほどのご苦勞があったことかと推察できるからです。

さて、本題に戻りますが、会社より星野完執行役員含め4名の参加をいただき、2050年ビジョンの説明があり、如何に再生可能エネルギーへソフトランディングをさせるかが重要との説明の後、株主総会並みの質疑応答がありました。続いてヒューマンギャラリーの見学を行いました。

出光興産関係のギャラリーかと思っておりましたが、昭和シェル、シェル石油、昭和石油の思い出深い看板等と初めてみる看板など興味深く見学させていただきました。

中でも早山与三郎、新津恒吉、長崎栄造三氏の関係性を初めてここで知り、己の未熟さと創業者のご苦勞に感謝の念を抱きました。

又20分の映像紹介があり、ライジング石油時代からの西戸崎製油所にまつわる事故による「タンク慰霊祭」が行われていることをも知りました。

機会がありましたら東北支部の皆様方にも見学をお薦めします。

帝劇ビルから懇親会場である川崎日航ホテルへ移動したのですが、98名の移動で全員が無事到着するか心配でしたが、さすがに準備万端で班分けしており無事に約2時間の懇親会が行われました。小生は新幹線の都合上、1時間だけの参加で名残惜しく宴席を跡にしました。

昭和シェル社友会会員としてやるべきことは、昭和シェル社友会が団結し結束していることを会社側に見てもらうことが最大の支援であることを痛感しました。

その為には、今回の全国大会や支部総会、諸行事、体調の優れない方は、川柳、近況報告等に参画することと考えます。

是非今後の運営に対するご協力を宜しくお願い致します。

最後に帝劇ビル8階の出光佐三さんの応接室を再現した場所から見えるお濠を1枚だけ撮影しました。電源が切れて他の撮影が出来なかったことをお詫びします。

東北支部 森 哲三